

第5回全国義民サミット(成田大会)を開催

「義民のこころ・生き方」の 精神に学ぼう



木内惣五郎の肖像画

全国義民サミットは、「利害を
超えて、人々のために、社会のた
めに尽くす義民の心を尊び、後世
に伝える」ことを目的に、全国各
地の「義民」にまつわる地で開催
されてきました。

来年は成田ゆかりの「佐倉宗吾

没後350年を迎えますが、これ
を機に、昨今忘れかけている「義

民のこころ・生き方」を顕彰し、

義民の精神を通して観光・商業の
活性化を図ることを「こころ」は本市
で「第5回全国義民サミット(成
田大会)」を開催します。

参加を希望する人は、商工観光
課へ申し込んでください。

日時＝9月4日(火)午前9時
～11時30分(会場には午前8時
30分から入れます)

会場＝宗吾霊堂大本坊

内容

○講演：楠木行廣さん(成田高等
学校教諭)

○シンポジウム：横山十四男さん
(全国義民顕彰連絡協議会代表)

ほか

定員と入場料＝200人(先着
順)・無料

申し込みなどくわしくは商工
観光課(☎20 1540)へ。

【義民とは】

義民の義は「利害を捨てて、人として尽くすべき道に従い、世のため人のために尽くすこと」です。これを自分の身や家族を顧みず実行した人のことを「義民」といいます。

【義民佐倉宗吾】

公津村(現在の成田市)の名主だった木内惣五郎は、承応元年(1652年)凶作と佐倉藩の重税に苦しむ領民を救うため、將軍に直訴を行い、住民を飢えから救いました。しかし、直訴の罪により承応2年8月3日(現在の9月3日)公津ヶ原刑場(現在の宗吾霊堂境内お墓の位置)で、子ども4人とともに極刑に処せられました。以来「宗吾様」と呼ばれ、日本各地で語り継がれている義民の中でも格別な存在として広く知られています。

宗吾霊堂境内にあるお墓には、今も多くの方が訪れている



宗吾旧宅(台方)

